

添付資料3 廃棄物データシート記入例

記入例1： 化学工場の汚泥（シクロヘキサン含有）

< 表面 >

管理番号 ****-**-***

廃棄物データシート(WDS)

*1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

*2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

*3 一品目に対して、一枚作成ください。

1 作成年月日	20XX年〇月〇日			記入者 ○○ ○○	
2 排出事業者の名称等	名称 株式会社〇〇 所在地 〒 ****-*** 〇〇県〇〇市 〇〇町〇丁目〇番〇号	所属 〇〇工場 〇〇部 〇〇課	TEL *****-***-*** FAX *****-***-***		
3 廃棄物の名称	紙おむつ用高分子吸収体				
4 廃棄物の発生工程					
4 □ 工程図等添付	紙おむつ用高分子吸収体製造工程(溶媒としてシクロヘキサンを使用)の不良品				
5 廃棄物の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> その他 () ※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等 <input type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 鉛さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)				
6 特定有害廃棄物	○:含む ×:非含む △:含むの可能性あり (×) アルキル水銀 (×) リクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロブロベン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオペンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 硼素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン				
7 廃棄物の組成・成分情報	物質名又は品名			量・濃度	CAS登録番号
	シクロヘキサン			5.0%	110-82-7
8 その他含有物質	○:含む ×:非含む △:含むの可能性あり (×) 硫黄 (×) 塩素 (×) 奧素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) アンチモン (×) その他 ()				

9	水道水源における 消毒副生成物 前駆物質 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	生成物質: ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)
		生成物質: クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン
		生成物質: 臭素酸(オゾン処理により生成)、ジプロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)
10	有害特性 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> 参考	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input type="checkbox"/> 引火性(-18 °C) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性() °C <input type="checkbox"/> 蒸気性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他(皮膚腐食性・刺激性:区分2、飼えん有害性:区分2)
11	廃棄物の物理的 ・化学的性状	形状 <input type="checkbox"/> 固形 <input type="checkbox"/> 泥状 <input type="checkbox"/> 液状 → 粘性 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 → <input type="checkbox"/> 弱 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 強 臭氣 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 → <input type="checkbox"/> 弱 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 強 (臭氣種類:) 色(薄い黄色) 比重(1.03) pH() 沸点(81.4°C) 融点(6.5°C) 発熱量() 水分(75%)
12	品質安定性	経時変化(<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) 有る場合は具体的に記入 (熱に不安定。移送時の流動等の際に静電気を発生しやすく、わずかな放電で引火する危険がある。)
13	荷姿	<input type="checkbox"/> 容器(ドラム缶) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度: (<input type="checkbox"/> スポット <input type="checkbox"/> 繼続予定) 数量: (1) <input type="checkbox"/> kg <input type="checkbox"/> t <input type="checkbox"/> ℥ <input type="checkbox"/> m³ <input type="checkbox"/> 本 <input type="checkbox"/> 缶 <input type="checkbox"/> 袋 <input type="checkbox"/> 個 / 年 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 週 <input type="checkbox"/> 日
15	特別注意事項	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項を記載
	保護具	<input type="checkbox"/> ガスマスク着用 <input type="checkbox"/> 一ガスマスク種類() 吸收缶種類() <input type="checkbox"/> 保護手袋 <input type="checkbox"/> 保護メガネ <input type="checkbox"/> その他()
	応急処置	<input type="checkbox"/> 吸入時 → <input type="checkbox"/> 新鮮な空気の場所に移動し安静にする <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 皮膚付着時 → <input type="checkbox"/> 多量の水で洗い流す <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 目に入った場合 → <input type="checkbox"/> 多量の水で洗い流す <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 飲み込んだ場合 → <input type="checkbox"/> 多量の水を飲ませ吐かせる <input type="checkbox"/> その他() (直ちに医師に連絡)
	漏洩時措置	除去方法: <input type="checkbox"/> 吸着マット・ほうき・スコップで回収する <input type="checkbox"/> その他() 除去作業時の注意: <input type="checkbox"/> 廃棄物に触れないようにする <input type="checkbox"/> その他()
	火災時措置	水による消火 <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 → 消火方法(噴霧水(棒状注水不可)、泡・粉末消火剤)
	その他	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・熱に不安定。移送時の流動等の際に静電気を発生しやすく、わずかな放電で引火する危険がある。 ・酸化剤や過酸化物との接触で、火災や爆発を起こすことがある。
16	その他の情報	SDS(<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) 分析表(<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) サンプル(<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) 有の場合 → <input type="checkbox"/> 均一 <input type="checkbox"/> 不均一 <input type="checkbox"/> 疑似サンプル 写真(<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) その他(<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) 具体的には → ()

<変更履歴／内容確認欄>

No.	日付	区分	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容／備考

様式作成 環境省

記入例1の作成に当たって参考した SDS の例（モデル SDS を使用した場合）

製品安全データシート		
シクロヘキサン		
		作成日 2002年3月12日 改定日 2025年4月 1日
1. 化学物質等及び会社情報		
化学物質等の名称 :	シクロヘキサン	
製品コード :	○○○	
会社名 :	○○○○株式会社	
住所 :	東京都△△区△△町△丁目△△番地	
電話番号 :	03-1234-5678	
緊急連絡電話番号 :	03-1234-5678	
FAX番号 :	03-1234-5678	
メールアドレス :		
推奨用途及び使用上の制限 :	用途の最も大きいのはカプロラクタム用で、次いでアジピン酸用、残りが有機溶剤（セルロース、エーテル、ワックス、レジン、ゴム、油脂）、ペイント及びワニスのはく離剤である	
2. 危険有害性の要約		
G H S 分類		
物理化学的危険性 :		
火薬類	区分に該当しない	
可燃性ガス	区分に該当しない	
可燃性/引火性エアゾール	区分に該当しない	
酸化性ガス	区分に該当しない	
高压ガス	区分に該当しない	
引火性液体	区分2	
可燃性固体	区分に該当しない	
自己反応性化学品	区分に該当しない	
自然発火性液体	区分に該当しない	
自然発火性固体	区分に該当しない	
自己発熱性化学品	区分に該当しない	
水反応可燃性化学品	区分に該当しない	
酸化性液体	区分に該当しない	
酸化性固体	区分に該当しない	
有機過酸化物	区分に該当しない	
金属腐食性物質	区分に該当しない	
急性毒性（経口）	区分に該当しない	
急性毒性（経皮）	区分に該当しない	
急性毒性（吸入：ガス）	区分に該当しない	
急性毒性（吸入：蒸気）	区分に該当しない	
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	区分に該当しない	
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない	
皮膚腐食性/刺激性	区分2	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A-2B	
呼吸器感作性	分類できない	
皮膚感作性	分類できない	
生殖細胞変異原性	区分に該当しない	
発がん性	区分に該当しない	
生殖毒性	区分2	
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分2（血管系），区分3（気道刺激性，麻醉作用）	
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分に該当しない	
誤えん有害性	区分2	
水生環境有害性 短期（急性）	区分1	
水生環境有害性 長期（慢性）	区分に該当しない	
環境に対する有害性 :		
ラベル要素		

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

引火性の高い液体及び蒸気

皮膚刺激

強い眼刺激

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

血管系の障害のおそれ、呼吸器への刺激のおそれ、眼氣又はめまいのおそれ

飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ

水生生物に非常に強い毒性

引火性の高い液体及び蒸気

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

使用前に取扱説明書を入手すること。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

容器を密閉しておくこと。

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。静電気放電や火花による引火を防止すること。

個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。

保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

環境への放出を避けること。

【応急措置】

火災の場合には適切な消火方法をとること。

飲み込んだ場合、無理して吐かせないこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

衣類にかかった場合、直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。

汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。

漏出物は回収すること。

【保管】

涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国/地域情報：

3. 組成、成分情報

物質

化学名又は一般名：

シクロヘキサン (Cyclohexane)

ヘキサヒドロベンゼン (Hexahydrobenzene)

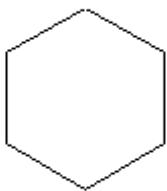
ヘキサメチレン (Hexamethylene)

ヘキサンアフテン (Hexanaphthene)

化学式：

C₆H₁₂

化学特性（化学式又は構造式）：



C A S番号：	110-82-7
官報公示整理番号	(3)-2233
(化審法・安衛法)：	
分類に寄与する不純物及び	
安定化添加物：	情報なし
濃度又は濃度範囲：	99%以上

4. 応急措置

吸入した場合：	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 医師の手当、診断を受けること。
皮膚に付着した場合：	汚染された衣類を脱ぐこと。 皮膚を速やかに洗浄すること。 多量の水と石鹼で洗うこと。 医師の手当、診断を受けること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
目に入った場合：	汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 医師の手当、診断を受けること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
飲み込んだ場合：	口をすすぐこと。 医師の手当、診断を受けること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
最も重要な兆候及び症状：	
応急措置をする者の保護：	有機溶剤用の防毒マスク、化学防護手袋、保護眼鏡等を着用し、あらゆる接触を避ける。

5. 火災時の措置

消火剤：	小火災：二酸化炭素、粉末消火剤 大火災：散水、噴霧水、一般の泡消火剤 棒状注水
使ってはならない消火剤：	
特有の危険有害性：	極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。 加熱により容器が爆発するおそれがある。 火災によって刺激性、毒性又は腐食性のガスを発生するおそれがある。 引火性の高い液体及び蒸気。
特有の消火方法：	加熱により蒸気が空気と爆発性混合気を生成するおそれがある。：屋内、屋外又は下水溝で爆発の危険がある。 引火点が極めて低い：消火の効果がないおそれがある場合は散水する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消防を行う者の保護：	消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め、適切な化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：	漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。
------------------------	--

環境に対する注意事項 :	風上に留まる。 低地から離れる。 密閉された場所に入る前に換気する。 環境中に放出してはならない。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
回収、中和 :	少量の場合、乾燥土、砂や不活性吸収物質で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。 少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。 大量の場合、散水は、蒸気濃度を低下させる：しかし、密閉された場所では燃焼を抑えることが出来ないおそれがある。
封じ込め及び浄化の方法・機材 :	危険でなければ漏れを止める。 漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。
二次災害の防止策 :	蒸気抑制泡は蒸発濃度を低下させるために用いる。 すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 :

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気装置・全体換気 :

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気装置、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項 :

使用前に使用説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の取扱いをしてはならない。

眼に入れないこと。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

「10. 安定性及び反応性」を参照。

接触回避 :

保管

技術的対策 :

保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。

保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。

保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。

保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ、適切なためますを設けること。

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

「10. 安定性及び反応性」を参照。

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。一禁煙。

酸化剤から離して保管する。

容器は直射日光や火気を避けること。

容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。

施錠して保管すること。

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

容器包装材料 :

設定されていない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 :

設定されていない。

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：

日本産業衛生学会（2005年版）

150ppm 520 mg/m³

ACGIH（2005年版）

TLV-TWA 100ppm

設備対策 :

防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

この物質を貯蔵しないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具	空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。高熱工程でミストが発生するときは、空気汚染物質を許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。
呼吸器の保護具 :	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具 :	必要に応じて適切な呼吸器保護具を使用すること。 適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具 :	必要に応じて適切な保護手袋を使用すること。 適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具 :	保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型） 必要に応じて適切な保護手袋を使用すること。 適切な保護衣、顔面用の保護具を着用すること。 必要に応じて適切な保護衣、保護面を使用すること。
衛生対策 :	取扱い後はよく手を洗うこと。
9. 物理的及び化学的性質	
物理的状態、形状、色など :	無色の液体 ¹⁾
臭い :	データなし
pH :	データなし
融点・凝固点 :	7°C (融点) ¹⁾
沸点、初留点及び沸騰範囲 :	81°C (沸点) ¹⁾
引火点 :	-18°C (密閉式) ¹⁾
爆発範囲 :	下限 1.3vol%、上限 8.4vol% ¹⁾
蒸気圧 :	12.7 kPa (20°C) ¹⁾
蒸気密度 (空気 = 1) :	2.9 ¹⁾
比重 (密度) :	0.8 ¹⁾
溶解度 :	不溶 ¹⁾
オクタノール/水分配係数 :	log Pow = 3.44 (推定値) ¹²⁾
自然発火温度 :	260°C ¹⁾
分解温度 :	データなし
臭いのしきい (闘) 値 :	データなし
蒸発速度 (酢酸ブチル = 1) :	データなし
燃焼性 (固体、ガス) :	該当しない
粘度 :	0.98mPa·s (20°C) ⁴⁾
10. 安定性及び反応性	
安定性 :	熱に不安定。 移送時の流動、噴霧、漏れ等の際に静電気を発生しやすく、僅かな放電で引火する危険がある。
危険有害反応可能性 :	酸化剤や過酸化物との接触で火災や爆発を起こすことがある。
避けるべき条件 :	高温
混触危険物質 :	酸化剤、過酸化物
危険有害性のある分解生成物 :	一酸化炭素、窒素酸化物等の有害なガスを発生する。
11. 有害性情報	
急性毒性 :	経口 ラット LD50 5000mg/kg ⁵⁰⁾ 経口 ラット LD50 29800mg/kg ⁵⁰⁾ 経口 ラット LD50 6240mg/kg ⁵⁰⁾ 経口 ラット LD50 30420mg/kg ⁵⁰⁾ 経口 ラット LD50 12870mg/kg ⁵⁰⁾ 上記5データからの計算値 = 7729.9mg/kgに基づき、区分外とした。
皮膚腐食性/刺激性 :	経皮 ラットで2000mg/kgの用量で死亡が見られなかつたとの記載 ⁵⁰⁾ に基づき、区分外とした。
	吸入(蒸気) 本物質の飽和蒸気圧濃度は125743ppmであり、吸入試験は全て蒸気で行われたと考えられる。
	吸入(ミスト) データなし
	ウサギおよびヒトにおいて皮膚刺激性があるとの記載 ^{1), 8), 50), 80)} がある。ウサギでは反復投与により皮膚に亀裂を生じ出血を認めたが、投与終了後1週間では軽快し ⁸⁾ 、ヒトに原液を1時間付着させた場合、発赤とみみずばれを生じたとの記載 ⁵⁰⁾ があるが、これも回復性の障害と考えられる。以上のことから区分2とした。
	皮膚刺激 (区分2)

眼に対する重篤な損傷性/刺激性：	ウサギで角膜混濁、虹彩炎、結膜充血・浮腫がいずれも可逆的に見られた ⁵⁰⁾ ほか、動物およびヒトで眼に刺激性があるとの記載 ^{1), 4), 18), 50)} があることから、区分2A-2Bとした。 強い眼刺激（区分2A-2B）
呼吸器感作性：	データなし
皮膚感作性：	GLP試験において皮膚感作性がなかった結果が記載されている ⁵⁰⁾ が、この試験は不十分な試験と記述されている。一方、予備欄にはヒトでの事例がないことが記載されている。以上の情報から、データ不足のため分類できないとした。
生殖細胞変異原性：	ヒト経世代疫学、経世代変異原性試験、生殖細胞 <i>in vivo</i> 変異原性試験の結果が無く、体細胞 <i>in vivo</i> 変異原性試験（ラット骨髄細胞を用いる染色体異常試験）で陰性の結果が示されている ⁸⁾ ことに基づき、技術指針に従い区分外とした。
発がん性：	EPAでIと分類されていることに基づき、区分外とした。
生殖毒性：	親に体重減少が見られる用量、または親の一般毒性についての記載がない用量で、授乳期の児の体重低値、胎児の体重減少が見られ、雄の生殖器への影響（精巣の萎縮、精子への毒性）が見られたとの記載 ^{8), 50), 80)} に基づき、区分2とした。 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い（区分2）
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)：	動物の多くの試験で中枢抑制が報告されており、麻酔作用があるとの記載が多いが、ばく露量のデータがない。ウサギへの経口投与において、区分2のガイドンス値範囲内の用量で血管損傷が見られたとの記載 ⁷⁾ があることから、区分2（血管系）とした。ヒトにおいて気道刺激性があるとの記載 ^{1), 7)} 、およびめまい、恶心、意識消失、反射の喪失等、中枢抑制があり死に至ることがあるとの記載 ¹⁸⁾ に基づき、区分3（気道刺激性、麻酔作用）とした。 血管系の障害のおそれ 呼吸器への刺激のおそれ 眠気又はめまいのおそれ
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)：	ヒトにおいて本物質による明かな毒性発現の記載がないこと ^{50), 80)} および動物において区分2のガイドンス値範囲より高い投与量で毒性発現が見られないこと ^{18), 50), 80)} に基づき、区分外とした。
吸引性呼吸器有害性	液体を飲み込むと、誤嚥により化学性肺炎を起こす危険がある ¹⁾ との記載に基づき、区分2とした。 飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）：	甲殻類（オオミジンコ）の48時間EC ₅₀ = 0.9mg/L ⁵⁰⁾ から、区分1とした。 水生生物に非常に強い毒性
水生環境有害性 長期（慢性）：	急速分解性があり（OECDテストガイドライン301Fによる28日間の分解度：77% ⁵⁰⁾ ），かつ生物蓄積性が低い ⁸¹⁾ ことから、区分外とした。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装：	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	IMOの規定に従う。
UN No. :	1145
Proper Shipping Name :	CYCLOHEXANE
Class :	3
Packing Group :	II

Marine Pollutant :	Not applicable
航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。
UN No. :	1145
Proper Shipping Name :	CYCLOHEXANE
Class :	3
Packing Group :	II
国内規制	
陸上規制情報	消防法の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号 :	1145
品名 :	シクロヘキサン
クラス :	3
容器等級 :	II
海洋汚染物質 :	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号 :	1145
品名 :	シクロヘキサン
クラス :	3
容器等級 :	II
特別の安全対策 :	危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。 危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動搖を起こさないよう に運搬すること。 危険物の運搬中危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合 には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関 その他の関係機関に通報すること。 移送時にイエローカードの保持が必要。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

15. 適用法令

労働安全衛生法 :

名称等を通知すべき有害物

(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

(政令番号 第232号)

労働安全衛生法 :

危険物・引火性の物

(施行令別表第1第4号)

消防法 :

第4類引火性液体、第一石油類非水溶性液体

(法第2条第7項危険物別表第1)

船舶安全法 :

引火性液体類

(危規則第2、3条危険物告示別表第1)

航空法 :

引火性液体

(施行規則第194条危険物告示別表第1)

16. その他の情報

参考文献 (省略)

災害事例

カプロラクタム製造工場において、酸化反応塔の抽出水分離槽のクリーニング工事を請負っていた作業者が、構内に裸電球の手さげ灯を持ち込んだ際、電球が水滴で割れた。その瞬間、内部に残存していたシクロヘキサンの蒸気が引火爆発した。

記入例2： 製造工場の廃液

< 表面 >

管理番号 ****-****

廃棄物データシート(WDS)

*1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

*2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

*3 一品目に対して、一枚作成ください。

1 作成年月日	20XX年〇月〇日			記入者 ○○ ○○
2 排出事業者の名称等	名称 株式会社〇〇 所在地 〒 ****-*** 〇〇県〇〇市 〇〇町〇丁目〇番〇号	所属 〇〇工場 〇〇部 〇〇課 担当者 ○〇 ○〇	TEL ****-***-**** FAX ****-***-****	
3 廃棄物の名称	廃液			
4 □ 工程図等添付	〇〇製品の製造工程で発生する廃液			
5 廃棄物の種類 □ 産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input checked="" type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input type="checkbox"/> その他 ()			
※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合				
6 特定有害廃棄物 ○:含有 ×:非含有 △:含有の可能性あり	<input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等 <input type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 鉛さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)			
7 廃棄物の組成・成分情報 □ 情報伝達が義務付けられている危険・有害物質	物質名又は品名		量・濃度	GAS登録番号
	ヘキサメチレンテトラミン		1.0%	100-97-0
	ホルムアルデヒド		10%	50-00-0
□ その他主要成分	ナトリウム 〇〇% 残りは水			
8 その他含有物質 ○:含有 ×:非含有 △:含有の可能性あり	<input type="checkbox"/> 硫黄 <input type="checkbox"/> 塩素 <input type="checkbox"/> 臭素 <input type="checkbox"/> ヨウ素 <input type="checkbox"/> フッ素 <input type="checkbox"/> 炭酸 <input type="checkbox"/> 硝酸 <input type="checkbox"/> 亜鉛 <input type="checkbox"/> ニッケル <input type="checkbox"/> 銅 <input type="checkbox"/> アルミ <input type="checkbox"/> アンモニア <input type="checkbox"/> ホウ素 <input type="checkbox"/> アンチモン <input type="checkbox"/> その他 ()			

9	水道水源における消毒副生成物前駆物質 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	生成物質: ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)
		生成物質: クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトニカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン
		生成物質: 噴素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、ブロモジクロロメタン、ブロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 氧化物(臭化カリウム等)
10	有害特性 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input checked="" type="checkbox"/> 参考	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input type="checkbox"/> 引火性(<input type="text"/> °C) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(<input type="text"/> °C) <input type="checkbox"/> 露水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他(<input type="text"/>)
	廃棄物の物理的・化学的性状 11	形状 <input type="checkbox"/> 固形 <input type="checkbox"/> 泥状 <input type="checkbox"/> 液状 → 黏性 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 → <input type="checkbox"/> 弱 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 強 噴氣 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 → <input type="checkbox"/> 弱 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 強 (噴氣種類: <input type="text"/>) 色(<input type="text"/>) 比重(<input type="text"/>) pH(<input type="text"/>) 沸点(<input type="text"/>) 融点(<input type="text"/>) 発熱量(<input type="text"/>) 水分(<input type="text"/> %)
12	品質安定性	経時変化(<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無) 有る場合は具体的に記入 (<input type="text"/>)
13	荷姿	<input type="checkbox"/> 容器(<input type="text"/> ドラム缶) <input type="checkbox"/> 車両(<input type="text"/>) <input type="checkbox"/> その他(<input type="text"/>)
14	排出頻度 数量	頻度: (<input type="checkbox"/> スポット <input type="checkbox"/> 繼続予定) 数量: (<input type="checkbox"/> 1) <input type="checkbox"/> kg <input type="checkbox"/> t <input type="checkbox"/> ℥ <input type="checkbox"/> m³ <input type="checkbox"/> 本 <input type="checkbox"/> 缶 <input type="checkbox"/> 袋 <input type="checkbox"/> 個 / <input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 週 <input type="checkbox"/> 日
	特別注意事項 15	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項を記載 保護具 <input type="checkbox"/> ガスマスク着用 → ガスマスク種類(<input type="text"/>) 吸収缶種類(<input type="text"/>) <input type="checkbox"/> 保護手袋 <input type="checkbox"/> 保護メガネ <input type="checkbox"/> その他(<input type="text"/>) 応急処置 <input type="checkbox"/> 吸入時 → <input type="checkbox"/> 新鮮な空気の場所に移動し安静にする <input type="checkbox"/> その他(<input type="text"/>) <input type="checkbox"/> 皮膚付着時 → <input type="checkbox"/> 多量の水で洗い流す <input type="checkbox"/> その他(<input type="text"/>) <input type="checkbox"/> 目に入った場合 → <input type="checkbox"/> 多量の水で洗い流す <input type="checkbox"/> その他(<input type="text"/>) <input type="checkbox"/> 飲み込んだ場合 → <input type="checkbox"/> 多量の水を飲ませ吐かせる <input type="checkbox"/> その他(<input type="text"/>) 濁済時措置 除去方法: <input type="checkbox"/> 吸着マット・ほうき・スコップで回収する <input type="checkbox"/> その他(<input type="text"/>) 除去作業時の注意: <input type="checkbox"/> 廃棄物に触れないようとする <input type="checkbox"/> その他(<input type="text"/>) 火災時措置 水による消火 <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 → 消火方法(噴霧水・泡・粉末消火剤) その他 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
16	その他の情報	SDS (<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) 分析表 (<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) サンプル (<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) 有の場合 → <input type="checkbox"/> 均一 <input type="checkbox"/> 不均一 <input type="checkbox"/> 疑似サンプル 写真 (<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) その他 (<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) 具体的には → (<input type="text"/>)

<変更履歴／内容確認欄>

No.	日付	区分	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容／備考

様式作成 環境省

記入例3：コークス炉ガスの精製工程で用いられた廃吸着剤

< 表面 >

管理番号 ****-**-***

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

※3 一品目に対して、一枚作成ください。

1 作成年月日	20XX年〇月〇日			記入者 ○○ ○○
2 排出事業者の名称等	名称	株式会社〇〇	所属	〇〇工場 〇〇部 〇〇課
	所在地	〒 ****-*** 〇〇県〇〇市 〇〇町〇丁目〇番〇号	担当者	〇〇 〇〇
3 廃棄物の名称	廃吸着剤			
4 廃棄物の発生工程	コークス炉ガスの精製工程 ※コークス炉ガスには主成分(水素、メタン等)のほか、微量成分(硫化水素、タールミスト等)が含まれている。 ※精製工程で、吸着剤(モレキュラーシーブ)により微量成分を除去し、主成分の水素・メタン等は、コークス炉の燃料として再利用される。			
5 廃棄物の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物 <input type="checkbox"/> その他 () ※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等			
	<input type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 鉛さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)			
6 特定有害廃棄物	(×) アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロベン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベニカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 硒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン			
7 廃棄物の組成・成分情報	物質名又は品名		量・濃度	CAS登録番号
8 その他主要成分	吸着剤(モレキュラーシーブ)：95%程度。酸化ナトリウムや酸化アルミニウムを構成元素とした、アルミニケイ酸ナトリウム/カルシウムと粘土鉱物の焼成混合物(合成ゼオライト) 硫化水素:1%(平均値)、7783-06-4(CAS登録番号) メチルメルカプタン:1%(平均値)、74-93-1(CAS登録番号) タールミスト(コールタール):0.1%(平均値)			

8	その他含有物質 ○:含有 ×:非含有 △:含有の可能性あり	(<input checked="" type="radio"/>) 硫黄 (<input type="checkbox"/>) 塩素 (<input type="checkbox"/>) 臭素 (<input type="checkbox"/>) ヨウ素 (<input type="checkbox"/>) フッ素 (<input type="checkbox"/>) 炭酸 (<input type="checkbox"/>) 硝酸 (<input type="checkbox"/>) 亜鉛 (<input type="checkbox"/>) ニッケル (<input type="checkbox"/>) 銅 (<input type="checkbox"/>) アルミ (<input type="checkbox"/>) アンモニア (<input type="checkbox"/>) ホウ素 (<input type="checkbox"/>) アンチモン (<input type="checkbox"/>) その他 ()	
		水道水源における消毒副生成物 前駆物質 <input type="checkbox"/> 有 · <input checked="" type="checkbox"/> 無	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)
		9	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2'-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3'-アミノアセトフェノン
10	有害特性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 · <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 参考	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input type="checkbox"/> 引火性(°C) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性 °C <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input checked="" type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特定標的臓器毒性:区分1、目に対する重篤な損傷・眼刺激性:区分2A)	
		11	廃棄物の物理的・化学的性状 形状 <input checked="" type="checkbox"/> 固形 <input type="checkbox"/> 泥状 <input type="checkbox"/> 液状 → 粘性 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 → <input type="checkbox"/> 弱 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 強) 臭気 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 → <input type="checkbox"/> 弱 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 強 (臭気種類: 廉價臭(腐ったタマネギ様の臭気)) 色 (褐色) 比重(0.9) pH () 沸点(-60°C) 融点(-85°C) 発熱量() 水分(%)
12	品質安定性 経時変化 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 · <input type="checkbox"/> 無) 有る場合は具体的に記入 (吸着剤自体は通常分解しないが、保管条件等によっては、使用時に吸着された物質の放出等の可能性)		
13	荷姿 <input checked="" type="checkbox"/> 容器 (ドラム缶) <input type="checkbox"/> 車両 () <input type="checkbox"/> その他 ()		
14	排出頻度 頻度: (<input checked="" type="checkbox"/> スポット <input type="checkbox"/> 継続予定) 数量: (10) <input type="checkbox"/> kg <input type="checkbox"/> t <input type="checkbox"/> リットル <input checked="" type="checkbox"/> m³ <input type="checkbox"/> 本 <input type="checkbox"/> 缶 <input type="checkbox"/> 袋 <input type="checkbox"/> 個 / <input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 週 <input type="checkbox"/> 日		
15	特別注意事項 保護具 応急処置 漏洩時措置 火災時措置 その他	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項を記載 保護具 <input checked="" type="checkbox"/> ガスマスク着用 一ガスマスク種類 () 吸收缶種類 (硫化水素用) <input checked="" type="checkbox"/> 保護手袋 <input checked="" type="checkbox"/> 保護メガネ <input type="checkbox"/> その他 () 応急処置 <input checked="" type="checkbox"/> 吸入時 → <input checked="" type="checkbox"/> 新鮮な空気の場所に移動し安静にする <input checked="" type="checkbox"/> その他 (直ちに医師に連絡) <input type="checkbox"/> 皮膚付着時 → <input type="checkbox"/> 多量の水で洗い流す <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 目に入った場合 → <input checked="" type="checkbox"/> 多量の水で洗い流す <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 飲み込んだ場合 → <input type="checkbox"/> 多量の水を飲ませ吐かせる <input type="checkbox"/> その他 () 漏洩時措置 除去方法: <input type="checkbox"/> 吸着マット・ほうき・スコップで回収する <input type="checkbox"/> その他 () 除去作業時の注意: <input type="checkbox"/> 廃棄物に触れないようにする <input type="checkbox"/> その他 () 火災時措置 水による消火 <input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 → 消火方法 (二酸化炭素、粉末消火剤による消火が望ましい) その他 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 吸着剤のSDSで、廃棄上の注意として以下の事項が挙げられている。 ・廃吸着剤には、使用された工程で吸着された物質が含まれている場合がある。 ・吸着能力が残っている場合は、水や空気中の水分などを吸着して発熱することがある。 ・水を再吸着した場合や温度によっては、吸着されていた物質が放出されることがある。	

<変更履歴／内容確認欄>

No.	日付	区分	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容／備考